

ワーク4 速やかに復興するために必要なことを考えてみよう。

	住民ができること	× (かける)	行政にしてほしいこと
災害への備え 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節や時間を変えて複数回、防災訓練を行う</li> <li>・地域防災の活動、自助組織の立上げ・協力し、役割分担ができるようにする</li> <li>・自助・共助・公助、意識の向上が大事</li> <li>・家の備蓄を準備する</li> <li>・通電火災に気をつける</li> <li>・発災前から被害想定を把握し、発災後について話し合っておく(会話程度で構わない)</li> <li>・平時から声かけ等して、情報共有しておくことで隣近所や地域のつながりをつくっておく</li> <li>・防災は、土地の成り立ちを知ることが必要であるため、まち歩きなどに参加するように啓発する</li> <li>・空家、空地の所有権などを把握しておく</li> </ul>	<b>自助・共助・公助</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十津地区に避難タワーをつくってほしい</li> <li>・事前に防災の啓発をしてほしい</li> <li>・民間アパートも含めて全世帯に情報が届くようにする必要がある</li> <li>・誰がどこに住んでいるのか、すぐわかるシステムを行政間で共有しておくべきではないか</li> <li>・小学校に避難してきた人達が学校再開で、学校が使えなくなった場合の新たな避難所を事前に整えてほしい</li> </ul> 
被災時の助け合い 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災時に生き残る・健康でいる(復興のためには多くの人の手が必要となる)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみやがれきをどこに持っていか、持っていく場所に避難者が居ないかを確認してほしい</li> <li>・被災状況の把握を速やかに行う</li> </ul> 
復興まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の中学生、高校生の力を借りる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の計画を住民1人1人に周知させる</li> <li>・被災後、どのような支援があるか予め周知し、補助金などの対応を速やかに行ってほしい</li> <li>・インフラ整備により道路を速やかに通れるようにしてほしい</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興に向けて細かい期間ごとの目標をつくる</li> <li>・お風呂の設置・炊き出し</li> <li>・仮設トイレの用意</li> </ul>  		

その他たくさんのご意見をいただきました

●お知らせ

ワークショップだけでなく、ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



●お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課  
事前復興まちづくり担当  
TEL:088-823-9055  
FAX :088-823-9085  
Mail:kc-080200@city.kochi.lg.jp

# 高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.2

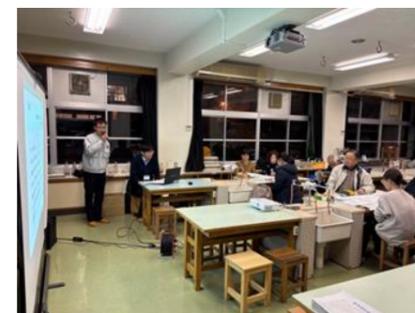
R8.2.5

## 三里地区 事前復興まちづくり計画 第2回ワークショップ (十津地区)を 開催しました!

地域の方  
15名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ  
意見交換1は2ページ、意見交換2は3ページ、ワーク4は4ページです

12月16日(火)、高知市立十津小学校で、三里地区事前復興まちづくり計画第2回ワークショップ(十津地区)を開催しました。意見交換1では「三里地区の復興ビジョン」、意見交換2では前回の復興パターンから地域の方の意見を反映した「修正復興パターン」、ワーク4では「速やかに復興するために必要なこと」について、みんなで話し合いました。



**済** 第1回 R7.9.8開催

- ワーク1 三里の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること
- ワーク2 復興パターン2案について
- ワーク3 楽しくなるような未来のまちを想像する



第2回 R7.12.16開催

- 意見交換1 復興ビジョンについて
- 意見交換2 修正復興パターンについて
- ワーク4 速やかに復興するために必要なこと



第3回 令和8年3月頃開催予定

- ワーク5 災害が起きる前からできること



# 意見交換1 三里地区の復興ビジョンについて話し合いました。

## 復興の目指すべき姿=ビジョンを考えよう→第1回ご意見から3案作成し意見交換

○第1回ワーク1~3の結果をもとに考えたビジョン案を提案しました

案1「資源」を主軸

『海・なりわい・歴史の魅力に溢れた 住み良い安心と絆のまち』

案2「防災」を主軸

『人・海・歴史が繋がる 災害に強く、住み続けたいまち三里』

案3「コミュニティ」を主軸

『自然と産業が調和し、人と地域が支え合う、安心を育むまち 三里』

○各班で議論したものを、発表していただきました！

### ・グループ1 案2、案3を評価

案2の「防災」を主軸として案3の「コミュニティ」を加えた、「災害に強く、人と地域が支え合う、住み続けたいまち 三里」という復興ビジョンでまとまった。

### ・グループ2 案1、案2を評価

災害が起きた後、最初は避難所生活で個人の生活を復活させたいという安定を求め一方で、人と離れたくないという意見があったことから「人がゆるやかにつながる、住みたい安心のまち」という復興ビジョンでまとまった。個々の小さな防災や遊び場所などは追々考えていってほしい。

### ・グループ3 案3を評価

十津地区は現在も清掃会社やごみの最終処分場などがあり、高知市の負の遺産を受け止めてきた歴史がある。また、十津地区にはさまざまな公共施設や交番、銀行がない。復興まちづくりをするにあたっては、三里の中でもそういった格差をなくしてほしいため、案3のコミュニティを主軸とし、「格差がない三里」というフレーズをできたら入れてほしい。十津地区がもっと人が住みやすくなるために避難タワーの機能を兼ね備えた人が繋がる建物が欲しい。

### ・グループ4 案3を評価

案1・案2の「資源」「防災」はコミュニティの根幹があってこそ強くなっていくものだと思うため、案3の「コミュニティ」を選択した。また、十津地区には集まれる場所が少ないため、小さい所でも集まれる場所がほしい。

上記以外にもたくさんのご意見をいただきました

#### 【人とのつながり】

- ・人を活かす復興ビジョンが良い
- ・隣近所・地域でのつながりが大事
- ・子ども中心のコミュニティセンターがあると良い
- ・「人と地域が支え合う、安心を育むまち」というフレーズは子育て世代には必要な要素だと思う
- ・まずは小さい町内会単位からつながりを強化して、三里全体へのつながりへつなげていきたい



#### 【いろんな行事を続けたい】

- ・餅つき大会や地区運動会・三里フェアが現在も途切れることなく続いている
- ・三里中学校が行っている「おたすけたい」や「三里フェア」の手伝いなど、若い世代とのつながりもできている

#### 【みんなが集まれる場所が欲しい】

- ・地域の人が気軽に立ち寄れる場所がほしい



#### 【産業について】

- ・三里の農業では各家で代々つながれている(十津地区は個人でのつながりが強い)
- ・被災後に園芸を大規模化させ、高知新港を発送の拠点としてはどうか



#### 【みんなにわかりやすく!】

- ・子どもでも分かるように「復興ビジョン」にふりがなをふっておいたほうが良い
- ・「なりわい」という言葉が分かりにくいので、小学生でも分かるようにしたほうが良い



#### 【地域の特性を考慮して欲しい】

- ・三里地区でひとまとまりにするのではなく、三里地区と十津地区に分けてほしい
- ・「三里」というフレーズは種崎・仁井田地区のイメージがあるため、「三里」を消すか「三里・十津」に直してはどうか

各地区の意見をまとめ、第3回ワークショップで最終的に三里地区のビジョンをお示しします。

# 意見交換2 修正復興パターンについて意見を共有しましょう。

1-A案(原案) 甚大被害エリア 高上げ型	1-B案 地区一体高上げ型	1-C案 浸水エリア一体高上げ型	1-D案 地区道路ネットワーク 形成型
甚大な津波被害想定地区の高上げ・土地区画整理	種崎地区全体を一体高上げ案・土地区画整理	種崎地区の浸水エリア全体を一体高上げ・土地区画整理 地区道路のネットワーク整備	甚大な津波被害想定地区の高上げ・土地区画整理 地区道路のネットワーク整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高上げ (区画整理事業)</li> <li>■ 県道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高上げ (区画整理事業)</li> <li>■ 県道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高上げ (区画整理事業)</li> <li>■ 市道 道路整備 (4m)</li> <li>■ 県道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高上げ (区画整理事業)</li> <li>■ 市道 道路整備 (4m)</li> <li>■ 県道</li> </ul>

### C案

- ・道路整備と浸水被害を守るC案が良い

### 道路のこと

- ・種崎地区内の道は広げた方がいいと思う
- ・三里全体の道を広げてほしい
- ・晴海団地に道路が狭い場所がある



### 移転先のこと

- ・仁井田公園の移転先は湿地なので移転には適さないのではないか
- ・大平山を開発することで、種崎地区の人も比較的近い所に移転でき、大平山の土砂災害も解消できるのではないか



### 十津のこと

- ・防災の拠点となる施設がほしい(十津地区)
- ・2棟ほど使っていない公務員住宅があるため、そういったところに地域の人が集まれる施設をつくったらどうか
- ・公営住宅を高上げすると周りとの取合せはどうなるのか

### その他、心配なこと

- ・種崎地区以外の地区から種崎地区の復興パターンの発言することは難しい
- ・十市池側からの浸水想定はできているのか(量や時間)

